



始業式を行いました。

○9月2日(月)2学期始業式を行いました。校長講話では、2・3年生には「自分の目標に向かって、将来をしっかりと見据え、それぞれの目標が実現できるように頑張ってもらいたい」、1年生には「1学期が終わり、学校生活に慣れてきたところやまだまだ不安なところがあるかもしれません」、全体には「今週土曜日に開催される学校説明会では、中学生が美里分校でどんな学校生活を送っているのかと見学に来ます。参加した中学生、保護者のみなさんが美里分校へ行きたいな、行かせたいなと思ってもらえるように、みなさんの頑張っている素敵な姿をぜひたくさん見せてあげてください。また2学期になっても、みなさんが活躍している、成長している姿を見せてください。2学期もしっかり頑張っていきましょう。」と生徒に向けて語りました。

県総合文化祭 郷土芸能部会発表会に出場しました。

○9月21日(土)かつらぎ町あじさいホールで開催された第9回和歌山県高等学校総合文化祭郷土芸能部会発表会に太鼓部が出場しました。「達磨石」「森のカタルシス」「轟き」の3曲を演奏し、第3位の成績を収めました。声を出すタイミングや腕の振り上げを統一したり、二つの太鼓を1人で叩くパフォーマンスを取り入れるなど、本大会に向けて熱心に取り組んできました。今後も練習に励み、がんばります。



花いっぱい運動を行いました。

○9月25日(水)LHRで全校生徒による「花いっぱい運動」の取組が行われました。今年は ①ケイトウ、②ナデシコ、③アスター、④センニチコウ、計120株をプランターに植えました。花を植えたプランターは玄関階段や体育館までの周辺に並べています。花言葉を添えて花の紹介をします。①「ケイトウ」…炎のように鮮やかな花色で秋の花壇を彩り、古くから親しまれている馴染みのある花です。ニワトリのトサカに似ていることから「鶏頭」と呼ばれています。花言葉は「風変わり」「おしゃれ」「気取り屋」「個性」「風変わり」「色あせぬ恋」です。②「ナデシコ」…今回プランターに植えた四季咲きナデシコは、暑さ寒さに強い丈夫な宿根草で、本来は芝のように横に広がっていきます。ナデシコ全体の花言葉は「無邪気」「純愛」です。赤いナデシコは「純粋で燃えるような愛」。ピンクのナデシコは「純粋な愛」。白いナデシコは「器用」「才能」です。③「アスター」…豊かな色合いと星型の美しい花で、庭園や花束を彩る人気のある植物です。アスターの花言葉は「思い出」「信じる心」「追憶」などがあります。素朴さの中に秘めた気品を感じさせ、赤・ピンク・白・青・紫など多様な花色と合わせて様々なシーンで楽しめます。④「センニチコウ」…日本の気候、風土に適していて、センニチコウ(千日紅)という名前は、花が長くもつことに由来しています。センニチコウの花言葉は「永遠の恋」「色褪せぬ恋」「終わりのない友情」です。



10月の主な行事など

- ・ 1日(火) 衣替
 - ・ 3日(木)～8日(火) 中間考査
 - ・ 7日(月) PTA役員会
 - ・ 9日(水) 思春期教室(3年生)
ゲートゴルフルール学習(1年生)
 - ・ 11日(金) 月例漢字テスト
 - ・ 15日(火) 持久走前内科検診(希望者等)
 - ・ 18日(金) 体育祭
 - ・ 25日(金) 地域交流ゲートゴルフ大会
 - ・ 31日(木) 県総文(放送文化部門)
- ★「令和6年度 文化祭」
○11月9日(土)美里分校文化祭を行います。内容は、食物バザー(生徒・PTA)、生徒舞台発表、作品展示等を予定しています。
○文化祭の詳細については、マンスリータイムズ10月号でお届けします。